

情報システム学会 第5回シンポジウム開催報告

研究普及委員会 委員長 宮川裕之

2012年5月26日（土）に第5回シンポジウム「日本のハイテク産業のパラダイムシフト」が青山学院大学青山キャンパスで開催されました。

エルピーダの会社更生法適用申請、TV製造業やソニーの低迷など、最近の日本のハイテク産業の動向には、技術立国日本の立ち位置を改めて見直す必要性を予感させる動きがあります。今回のシンポジウムでは、これらの動きを捉える視座や将来動向ならびに新たなパラダイムに対応する上での人材育成のあり方について以下の講演とパネルディスカッションを行いました。

講演1：「ハイテク新生のデザイン」

松島克守氏

（一般社団法人俯瞰工学研究所代表理事、東京大学名誉教授）

講演2：「ハイテク産業の経営に学習科学が示す方向」

渡辺毅氏（(株)日立インフォメーションアカデミー）

パネルディスカッション：

司会：青木美代子（(株)日立インフォメーションアカデミー）

パネラー：松島克守氏、渡辺毅氏

今回、非会員18名を含む50名が参加され、日本のハイテク産業が抱える課題や求められる人材育成のあり方について活発な議論がなされ盛況のうちにおさめることができました。また、今回のシンポジウムもITコーディネーター協会のご後援をいただき、参加者には協会発行のポイントが付与されました。

今後も会員の皆様のご期待の添えるようなシンポジウムを企画したいと考えております。